

はじまりの歌



SHIRUSUie
ame nochi kurashi



山本建築工房とお客さんと。
チームで創る“SHIRUSUie”



いえ、別に目立ちたいとか
かっこいいとか
お洒落な間取りも大事だけど...
心がやわらかくなって
ほっとして、安心できて
早く帰りたくなるお家を
建てたいなああって思ってます。
そういう家を創ってるんですよ。
山本建築工房さん！
(田辺市 / 32歳パート勤務)

3/8^土・9^日 土地相談会

田辺市三栖
上富田町岩田 限定!

完全
予約制

各回1組様
限定

田辺市三栖小学校・衣笠中学校の校区でお探しの方！
保育所・幼稚園・小学校が近い上富田町岩田に住みたい方！
ご紹介する区画内は同世代・子育て世帯の方も多く
安心して子育てを楽しめる土地です。

①10:00～ ②12:00～ ③14:00～ ④16:00～

何から
始めれば...

何が優先？

津波・
土砂災害の
心配は？

などなど、ぜひ土地選びの
参考にしてください！



ご予約はこちら！

株式会社 山本建築工房

田辺市たきない町12-20 / Open 9:00～18:00

☎0739-25-5775

yamamotokenchikukobo.com



詳細はInstagram、
LINE公式アカウントにて配信します！
ご予約もこちらからできます。



DELICA&ZAKKA MOM.
11:00～17:00 日・祝定休日
田辺市東山2-26-30
TEL:0739-33-2069

日替り弁当
毎日インスタ
ストーリーズで
投稿中



次回 2025年
4月1日 発行

LACAN 発行所: 株式会社ラカン 〒649-2211 白浜町2927-910
TEL:0739-34-7588 FAX:0739-34-7866 E-mail:lala@lacan.jp 撮影:文:MUYA デザイン:design ao
※本誌掲載の記事・イラスト・写真の無断転載、コピーを禁じます。 ※広告掲載についてのお問い合わせはメールまたはお電話で。

月刊ラカンの
バックナンバーは
こちらからどうぞ!



和歌浦の目の前に印象的な青い建物がある。室さんはここでガラスジュエリーの制作をしている。目の前には大きな海の景色が広がっている。幼い頃から透明なものがすごく好きだった。ゼリー、お母さんのジュエリー、お風呂屋さんにも置いてあるアップルジュースの瓶、そのジュースも好きだった。夫の転勤を機にニューヨークへ行き、「Chisato Muro」としては2017年からガラスジュエリーの制作を始めた。帰り際、少し制作過程を見せてくれた。ジュエリーのイメージとは相反する工程の多さ、ガラスに合わせて彫金もしているという。「非効率なのはわかってるんだけど、自分が良いと思って選んで続けたことが心のどこかにあるから、信じてやっていきたい」そう話す室さんの目はガラスのようにキラキラしていた。

和歌浦
ニューヨーク仕込みの
ガラスジュエリー



はまりの歌 マデリン・ペルー / 「La Javanaise」
音楽に求めるものは癒し。アトリエで夕方から陽が落ちるギリギリまで灯りをつけずに聞くのが好き。

Chisato Muro チサトムロ
✉ chisato@chisatomuro.com



Online Shop



「フードセンター イワセ」は、和歌山の農家さんから直接仕入れるオーガニック野菜や、こだわりの調味料や加工食品を販売している“本当に美味しい”に出会えるローカル食品店だ。店主は、「オーガニックだからだけではなく、身近な生産者さんが育てた旬のものを選択することで、地域が豊かになるんじゃないかな」と話す。また自家焙煎のコーヒーショップ「茶豆」も運営。お客さんとの対話を大切にしながら、夫婦2人で店頭に立っている。お店にはスタンドが併設されていて、そこではコーヒーを飲む人やお弁当を食べる人、それぞれの時間を楽しんでいる。店内は手書きのPOP、適正価格で売られる商品、レジには再利用した紙袋。フードセンター イワセには、いつか感じた商店街の懐かしさがある。「何かをやりたいとか、やってたではなく、今やっつてやっつが1番最強だと。それが原動力になっている」優しくも力強く話す言葉に、このお店の未来を感じた。春には新しい生命が生まれる。

気になる人々、それぞれの原点

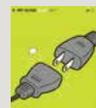
はまりの歌

今回の企画の編集者は
白浜で衣類とカフェと小さなホテルの店を営む
「MUYA」のオーナー 撫養健太さん。
撫養さんとラカンが気になる
何かを始めた、
あるいは信念を持ってそれを続ける人々の想い、
そしてその時々々に寄り添った
「歌」についてお聞きしました。

はまりの歌 石井 佳奈 MOROHA / 「上京タワー」
大阪から和歌山に移住してきたタイミングに聞いていた曲。東京ではないけど、気持ちは上京したのと一緒で歌詞が当時の気持ちと重なった。



石井 聡 RIP SLYME / 「JOINT」
中学生の時に初めて買ったCD。CMで聴いてTSUTAYAに探しに行き、深掘りしたり発見することの大切さに気づく。



フードセンター イワセ

和歌山市岩橋729-6
☎073-463-6359
🕒11:00~19:00
🗓️水曜日



※出産のため3・4月は水・木曜日が休み

お店のない、
真面目なベーグル屋さん

「人は1日に35,000回の決断をしている」
日常のなかで無意識に数多くの決断を下していると話してくれたhohoさん。栄養士の仕事を辞めて子育てと仕事の両立ができるのか、不安もあったが気持ちの捉え方次第だと思い独立することを決断した。
「何がしたいって言われたら、ベーグル屋だけにとらわれず正直に自分のできることをしていく。出会いや縁で成り立っていくことをしたい」44歳、決して若くない年齢に自分と向き合えた。「自分も楽しめることで、それを食べて元気になってくれるとか、自分もそういう経験があったから1人でも多くの人を幸せにすることで生活できたら最高なんです」と照れながら話す彼女が印象的だった。

はまりの歌 熊谷 幸子 / 「風と雲と私」
この歌を聞くと当時の気持ちにタイムスリップできるという。テレビドラマ「夏子の酒」の主題歌。



hoho ホホ
●実店舗がないため、POPUP情報やお問い合わせはインスタで。



買い物終わりはスタンドで一服
コーヒーもお弁当も



元会館だった工房の2階が住まいで、広いリビングの真ん中に鎮座するのは大島さん手すずからあつらえたシステムキッチン。前と後ろのカウンターどちらにもシンクがあり、夫婦ふたりでやれば洗い物もすく終わるのだとか。

はまりの歌



THE BLUE HEARTS / 「人にやさしく」
中三のときにブルー・ハーツを聞いて衝撃を受けた。小学校の卒業アルバムに将来の夢はさすらいの旅人。

久しぶりに会った大島さんは満面の笑顔で迎えてくれた。北海道出身である彼は高校卒業後、東京で1年間過ごし、その後オーストラリアでのバックパッカー旅行を経て、地元に戻り水産加工所でバイトしお金を貯め、沖縄へ行く道中に和歌山を訪れる。1週間の滞在予定が、1年そこで過ごすことになり、そこで大工の手伝いをし、妻になる結(ゆう)さんにも出会うこととなる。北海道に帰郷したが自分の居場所は見つけられず、その後も自分が何者であるか問いつけていた。「全く自分の仕事ってということについてイメージを持っていなかったんだけど和歌山で1年間居候して、そこで初めて職人って仕事があるんやと思いました。木っていうのはもう最初から形が決まってるでしょ。ただ削るにしろ、切るにしろ、引き算しかないんですよ。大きいものから小さいものしか作れないんで、非常に不器用でもできる仕事なんです」と話す。そこから飛騨高山にある木工技術専門学校に行き、卒業と同時に和歌山に来た。「自然から材料をいただいて、それを人の暮らしに役立てる形に変えるって仕事。僕はクリエイトとはちょっと違うと思ってるんですけどね。もうメイクだと思っ」大島さんは自然への感謝を忘れず、誰かの暮らしを今日も作っている。

CORDE コルデ
田辺市長野39-2
✉cantaohshima@corde.jp



さすらいの旅を経て
田辺市長野で工房をかまえた木工職人



「小さい頃、父親に家族旅行で連れてきてもらったアドベンチャーワールドに行くとき、この建物を見たことがある」と話す、代表の西岡さんは大学時代から眼鏡業界に興味を持ち、大手眼鏡店に就職し昔に見た田辺市に配属された。一緒に働く清家さんとは先輩、後輩の間柄だ。他の町をいくつか渡り歩いたが田辺の住みややすさや人柄の良さを感じ、いつか独立するなら田辺市で開業したいと考えていた。そして2022年めがね家をオープン。和歌山県でもトップレベルのレンズの種類と子供用眼鏡の豊富さも売りたい。遠くは新宮からも訪れる。「眼鏡屋は歳をとっても長く続けられる仕事。歳を取っても若い子に眼鏡を選んだりの手伝いとかはできるかな」とこの田辺という場所で生きていくことを決めた。



代表の西岡さん(左)と相棒の清家さん(右)。



はまりの歌



西岡 圭介
ウルフルズ / 「笑えれば」
忙しかったサラリーマン時代にこの歌の歌詞を聞いて勇気づけられた。

めがね家

田辺市稲成町298-1
☎0739-34-2352
🕒10:00~19:00
🗓木曜日



「何か新しいものを探したかったんです」
もう美容師をするつもりはなかった。長年勤めていた美容室を辞め8ヶ月、自分と向き合った。手探りの中、興味が出たものに触れてみる。飽きと興味の繰り返し。時間が経つにつれて、誰のためにやるわけでもないのに、カットの技術やアレンジ、自分が好きなスタイルとかいろいろな動画を自然と携帯に保存していたという。「誰に披露するんやろって思いながら、もうやることないのになって思ってたんですけど、その時に自分の気持ちに気づいた。やっぱりやりたい。余裕がなくて忘れてたんですね」
自分ができると喜んでもらえることをやるのが一番良い。それが原点だと話してくれた。きっとまた美容師をすることは決まっていたのかもしれない。彼女の言葉を聞いて、新しいものが見つかったと思った。

はまりの歌



エレファントカシマシ / 「髭りゆく部屋」
原曲は荒井由美。昔から宮本浩次が歌うこの曲が好き。去年コンサートで歌ってくれたそう。



Piramid ピラミッド

田辺市宝来町21-5
●要予約(予約はLINEから)
🕒10:00~17:00
🗓不定休



「やっぱりやりたい」
原点回帰の美容室





HELLO! Springs Shirahama

VOL.3

足湯 10:00～21:00 (タオルは持参で)



大浴場日帰り利用 13:00～19:00
(受付:ドックホテルフロントにて)
1,000円 ※和歌山県民は800円
タオルは別途料金

外湯に足湯、濃い～温泉を心ゆくまで

Springs Shirahamaの温泉は、白浜の中でも最も歴史のある「行幸源泉」からのお湯。源泉かけ流しの濃い～温泉を楽しむことができます。日帰り利用もできる大浴場は、和歌山県民なら割引サービスが受けられますよ！ヒノキの香りのオリジナルバスアメニティも大好評なんです。また、中央にシンボルツリーがきらめくカスケード足湯ももちろん源泉かけ流し。まだまだ冷えるこの時期は、ワンちゃんを連れてコーヒーとパンを片手に足湯でほっこりもいいですね。



大浴場入り口にあるシャンプーバーで、自分の好みの香りを選んでください。

Springs Shirahama
スプリングス シラハマ



白浜町1729-11
☎0739-33-2221

Dog Hotel

Bakery Hotel



編集後記

今回はラカンを主催する朱さんが2週間入院するとのことでした。ピンチヒッターで取材させていただきました。昔から誰かの話を聞いたり手伝いをしたり、サポートする2番手ポジションが好きでした。自分の仕事を始めてからはそういう機会がなくなってしまったので、とても楽しかったです。3月は出会いや別れ、新しいチャレンジする方も多いのではと思い、なにかのきっかけになるような企画にしてみました。みなさん1時間近く話してくださっていて載せたいおもしろい話もたくさんあったのですが、いつかどこかで書けたらいいなと思ってます。今回取材させていただいた方たちは本当に素晴らしい。ぜひお出かけください。

MUYA
撫養 健太



路地裏から失礼しますっ #27

STOCK OUTDOOR * COLUMN

今日の晩御飯はカレーにしようかな？

程なくして完食、隣に座ったお客さんは待ちに待ったカレーだったのか「来たきたーっ」と心の声がダダ漏れなのを尻目にボクは立ち去る。

が正解なのかも。たまにお血にスプーンを叩きつけるぐらいガチャガチャやるさく食べるやつが居るがボクは気にしない。彼らも戦っているのだ、カレーと。

カレーライスが好きな人は、カレー専門店に行った時のことだ。食欲を掻き立てられるスパイシーな香りに釣られてお昼時のサラリーマンが立ち並ぶ。店はカウンター席のみ。並びはするが回転は早いのですぐ順番が来て着席。

カレーが好きです。スタンダードなカレーライスも好きだし。スパイスカレーのサラツとした感じも好き。

神戸のとあるカレー専門店に行った時のことだ。食欲を掻き立てられるスパイシーな香りに釣られてお昼時のサラリーマンが立ち並ぶ。店はカウンター席のみ。並びはするが回転は早いのですぐ順番が来て着席。

田辺市下屋敷町18-3
☎0739-34-3033
11:00～19:00
水曜日



生鮪をいろいろな食べ方で楽しめる「まぐろ定食1,870円」

那智勝浦町で熊野の恵みの台所、めざめる

「熊野のめざめ」は熊野の食材や文化をより深く楽しめる場として2023年にオープンした。那智勝浦駅の裏手、目の前にある。この場所ならではの料理を提供したいと、野菜は近くの色川地区の農家さんが持ってきてくれたり、しらすやヒロメや豆腐は新宮から、鶏肉は近所のおばあちゃんからと、地場の食材はあげだしたらキリが無いほど。熊野牛や鯨に加え名物のまぐろは、信頼を置く地元仲買「片原魚店」から仕入れている。歩いて5分の勝浦漁港から届く生まぐろは本当に美味しい。また利き酒師セレクトの日本酒も豊富に取り揃えている。「地元の方が来たり、熊野古道を歩いた海外の方も多くいらっしゃいます。夕食時は海外の方で満席になることも。そういった方とコミュニケーションをとったりするのが楽しい」と店長の松下さん。勝浦の台所がここにあるといった感じだ。

那智勝浦町朝日3-34
民宿わかたけ1F
☎070-8912-1367
11:00～14:00 / 17:00～21:00
月・火曜日



熊野のめざめ

flor flower & coffee

おめでとう ありがとう 元気でね
そんな思いをお花に添えて

3月は節目の季節。進級、卒業、転職など日頃の気持ちを伝えるシーンがたくさんありますね。そんな思いをぎゅっと束ねて素敵な花束に仕上げてくれるのが、田辺市の「flor(フロール)」。フロールのお花は日持ちがよく、センスの良いラッピングも人気なんです。ぜひ、渡したい人の好みの色や予算など希望を伝えてみて！もちろん1本からでもOKで、子どもたちから先生へ渡すお花の依頼も多いそう。子どもたちだけでなく、頑張ってきたママやパパたちに「お疲れ!」の気持ちを贈り合うなんてのも素敵ですね。言葉以上に気持ちが伝わるお花のプレゼントをフロールで!

フロール

田辺市湊19-37(海蔵寺通り)
☎0739-22-8792
10:00～19:00(日・祝は18:00まで)
カフェは18:30 L.O
不定休(インスタでお知らせ)



ラッピングは110円～。サイズや希望によって変わるので、気軽に相談してみてください。お花にプラスしてクッキーやドリップコーヒーの詰め合わせも可能! 写真のクッキー詰め合わせは3種セットで700円、ドリップコーヒー2個セットは550円。

